

# 企業・事業者の地域貢献・地域との協働の あり方を考えるセミナー



ごみ減量化・環境教育 の視点からのアプローチ

**日時** 平成19年2月27日(火) 13:30~16:00

受付 12:45~

**場所** 三重県総合文化センター 三重県津市一身田上津部田1234  
男女共同参画センター棟2F セミナー室A (定員100名)



持続可能な循環型社会を目指すうえで、企業・事業者の果たす役割は大きなものがあります。最近では環境報告書あるいはCSR(企業の社会的責任)に関する取組報告書等を発行する企業も増加し、企業・事業者の社会におけるあり方、地域貢献のあり方を探ることが企業経営において模索されてもいます。

そこで、企業と地域社会とのパイプ役となり環境学習・環境教育において地域貢献の一助を担われているNPOの取組事例や、企業がそのノウハウを活かして地域のごみ減量につながる活動を展開している事例等をご紹介します。ごみ減量化や環境教育の取組はもとより、地域における多様な主体による協働の取組を促進・活性化させるため、県内企業・事業者(市町の担当者、NPO関係者)等を対象に、地域貢献や地域との協働について検討・創出のきっかけとなるセミナーを開催します。

主催：三重県 企業環境ネットワーク・みえ

三重県環境森林部

ごみゼロ推進室

環境活動室

TEL059-224-3126

TEL059-224-2316

FAX059-229-1016

FAX059-224-3024

gomizero@pref.mie.jp

kkatsudo@pref.mie.jp

# 企業・事業者の地域貢献・地域との協働のあり方を考えるセミナー

～ごみ減量化・環境教育の視点からのアプローチ～

## プログラム

12:45～ 受付

13:30～ 挨拶 「ごみゼロ社会実現プラン」の取組について ごみゼロ推進室

13:35～ 講演

### 「多様な主体との協働による企業のCSR活動」

小川 雅由 氏 (NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)、元西宮市環境都市推進グループ課長)

企業・事業者の今後の地域貢献のあり方や展開の可能性を検討するきっかけとしていただくため、企業が地域社会(子ども・学校・家庭など)との連携・協働の中で取り組んでいる、子どもへの環境学習・教育活動について、取組活動をコーディネートしているNPOの視点からお話させていただきます。

<講師プロフィール>

1953年、大阪生まれ。1972年西宮市役所入所、1994年環境保全課啓発係長。1998年より「こども環境活動支援協会(LEAF)」(リーフ)発足に携わる。2003年環境部都市推進グループ課長、全国初の「環境学習都市宣言」を行う。2006年、西宮市役所を退職、現在、フリーランスとして環境学習を通じた地域に根ざした持続可能なまちづくりのコーディネートやシステム開発、講演活動、LEAFが行う企業関係者との環境学習事業やCSR連携業務などに従事。

14:35～ 休憩

14:50～ 事業者の取組事例発表 1

富士ゼロックス三重株式会社 経営管理部 松井 直之 氏

子ども向けの環境学習プログラム「Kids' ISO140007 ぼうら」を、学校や行政と連携して導入し、地域の環境教育を推進している事例をご紹介します。

15:10～ 事業者の取組事例発表 2

大栄サービス(株)／(有)大栄衛生 代表 赤澤 健一 氏

ごみ減量やリサイクルの技術・ノウハウを持つ廃棄物処理事業者がNPOと連携し、地域の様々な規模の企業と協働で実施する環境学習授業の事例をご紹介します。

15:30～ 質疑応答 30分

16:00 終了

ごみの減量化、ごみゼロ  
社会の実現に向けて

「ごみゼロ社会実現プラン」は持続可能な資源循環型社会の構築という大きな目標に向けて、住民、事業者、行政など多様な主体が共有すべき取組の指針です。



FAX送付先 059-229-1016(ごみゼロ推進室 清水、佐藤 あて)

参加申込書 企業・事業者の地域貢献・地域との協働のあり方を考えるセミナー

ご所属	部署・ご役職等	参加者ご氏名

※申し込みは、郵送や電子メールでも構いません。上記の事項を記載の上お送りください。

【電子メールの場合】[gomizero@pref.mie.jp](mailto:gomizero@pref.mie.jp)

先着100名受付で締め切ります。

【郵送の場合】〒514-8570 津市広明町13 環境森林部ごみゼロ推進室 清水あて